

1 これまでの計画及び実績

■「スマートエネルギー都庁行動計画」

<計画期間>

2015年度から2019年度までの5カ年

<削減目標・取組及び実績>

温室効果ガス・エネルギー消費量の削減、再生可能エネルギーの導入に関する目標及び目標達成に向けた具体的取組を規定

	2019年度目標	実績
温室効果ガス排出量	2000年度比▲25%	▲20.9%
エネルギー消費量	2000年度比▲25%	▲20.8%
太陽光発電新規導入量	4,200 kW	4,738 kW

<対象範囲>

知事部局、教育庁、警視庁、東京消防庁、議会局、各行政委員会事務局及び東京都職員共済組合の事業所、自動車敷地外工作物(信号・街路灯等)

※公営企業局は対象外、東京2020大会の新規施設は除く

2 ゼロエミッション東京の実現に向けて

- 都は、2050年CO₂排出実質ゼロに向けて、2030年の温室効果ガス50%削減などの新たな目標を設定
- 都自らも「隗より始めよ」で、脱炭素化に向けた取組を加速し、2030年「カーボンハーフスタイル」の定着に向けさまざまな主体の取組を牽引

3 都庁率先行動の強化・加速

■「ゼロエミッション都庁行動計画」の策定

<計画期間>

2020年度から2024年度までの5カ年

<削減目標・取組>

これまでの**省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの基幹エネルギー化に向けた取組**に加え、以下の分野を追加し**取組を加速**

- ✓ ZEVの導入推進
- ✓ 使い捨てプラスチックの削減
- ✓ 食品ロスの削減
- ✓ フロン対策の推進

具体的な目標及び取組は次ページ

<対象範囲>

前計画の対象範囲に加えて、ZEV、プラ等の新たな分野では公営企業局を対象に

<実行性を担保する仕組み>

- ・ゼロエミッション都庁推進会議による進捗状況の確認、施策の見直し、バージョンアップ
- ・グリーン購入など公共調達を活用した脱炭素化の推進

都庁における2030年カーボンハーフの実現を目指す

主な目標と取組

計画期間（2024年度）目標

取組方針等

省エネルギー 再生可能エネルギー

2030年目標(都全体)

- ・都内温室効果ガス排出量
50%削減（2000年比）
- ・都内エネルギー消費量
50%削減（2000年比）
- ・再生エネルギー利用割合
50%程度

<分野1>

建物のゼロエミッション化に向けた省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入拡大

- 温室効果ガス排出量（2000年度比）
40%削減
- エネルギー消費量（2000年度比）
30%削減
- 再生エネルギー利用割合 **50%**程度
- 太陽光発電累計 **12,000**kW

※公営企業局は、各々個別に設定

<取組方針>

- 再生エネルギーの利用促進
- 省エネルギー・再生エネルギー設備等の更なる率先導入
- エネルギー使用量の見える化の強化と運用対策の徹底・DX対応

<具体的取組>

- ☑ とうちょう電力プランによる再生エネルギー100%電力調達
- ☑ レジリエンス向上にも資する既存施設への太陽光発電の設置
- ☑ 都庁施設におけるエネルギー管理のオートメーション化の検討 など

Zero Emission Vehicle

2030年目標(都全体)

- ・乗用車新車販売
100%非ガソリン化
- ・二輪車新車販売(2035年)
100%非ガソリン化
- ・公共用急速充電器**1,000**基

<分野2>

ゼロエミッションビークルの導入推進

- 非ガソリンの庁有車（乗用車）**100%**
※二輪車は2029年度
- 都庁施設に公共用充電器を **300**基
以上設置

<取組方針>

- 庁有車におけるZEV化の推進
- ZEVの普及に向けたインフラの整備

<具体的取組>

- ☑ 庁有車の原則更新時ZEV化を徹底
- ☑ 都民利用施設への公共用充電器の整備 など

主な目標と取組	計画期間（2024年度）目標	取組方針等
<p>プラ スチック対策</p> <p>2030年目標(都全体) ・家庭と大規模乗オフィスビルからの廃プラスチック焼却量(2017年度比) 40%削減</p>	<p><分野3> 使い捨てプラスチックの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 都庁舎から排出する廃プラスチック焼却量 (2017年度比) 20%削減 ■ 高度リサイクルの導入 ■ 都主催イベントのリユースカップ等原則実施 	<p><取組方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3Rの推進 (物品調達等における組織的な取組) ● 職員による率先行動の徹底 <p><具体的取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 都有施設での「ボトル to ボトル」の推進 ☑ 新しい日常での職員率先行動の推進 など
<p>食品ロス 対策</p> <p>2030年目標(都全体) ・食品ロス半減(2000年度比)</p>	<p><分野4> 食品ロスの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 食堂や売店等における利用者の食品ロス削減行動が実践 ■ 都庁舎の食堂や売店等の食品リサイクル拡大 ■ 飲食を提供するイベント等における食品ロス削減行動が徹底 ■ 都が保有する防災備蓄食品の廃棄が最小化 	<p><取組方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都有施設の食堂や売店等における食品ロスの発生抑制等 ● 都主催イベント等における食品ロスの削減 ● 都が保有する防災備蓄食品の有効活用の推進 <p><具体的取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 職員による食品ロス行動の実践 ☑ 都主催イベント等での取組の促進 ☑ 防災備蓄食品の有効活用 など
<p>フロン 対策</p> <p>2030年目標(都全体) ・代替フロン (HFCs)排出量(2014年度比) 35%削減</p>	<p><分野5> フロン対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ノンフロン機器及び低GWP機器への転換が原則化 ■ 管理者による機器使用時・廃棄物の漏えい防止が徹底 	<p><取組方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ノンフロン機器等の導入推進 ● 管理者による点検・管理の徹底 <p><具体的取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 新設・改修時の計画的な導入・更新 ☑ 使用時及び廃棄時における漏えい防止の徹底 など